

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 2 月 1 日(2023.2.1)

【公開番号】特開 2022-118126(P2022-118126A)
【公開日】令和 4 年 8 月 12 日(2022.8.12)
【年通号数】公開公報(特許)2022-147
【出願番号】特願 2022-98713(P2022-98713)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 1 月 24 日(2023.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な流下領域が前面に形成された遊技板を備えた遊技機において、
前記遊技板の前面側に設けられる前部材と、
前記前部材に着接可能なシール体と、を備え、
前記前部材は、
表面側に前記シール体が着接される平板部と、
前記平板部の表面側から裏面側に貫通して形成された貫通孔と、
前記平板部の裏面側に設けられる立壁部と、を具備し、
前記前部材が前記遊技板に設けられた状態では、前記平板部に着接された前記シール体
により前記貫通孔のうち前記平板部の表面側の開口部分が閉鎖され、前記貫通孔のうち前
記平板部の裏面側には前記立壁部に囲われた所定空間が形成されることで、前記貫通孔か
ら挿入された異物の前記流下領域への侵入が困難とされる

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、
遊技球が流下可能な流下領域が前面に形成された遊技板を備えた遊技機において、
前記遊技板の前面側に設けられる前部材と、
前記前部材に着接可能なシール体と、を備え、
前記前部材は、
表面側に前記シール体が着接される平板部と、
前記平板部の表面側から裏面側に貫通して形成された貫通孔と、

50

前記平板部の裏面側に設けられる立壁部と、を具備し、

前記前部材が前記遊技板に設けられた状態では、前記平板部に着接された前記シール体により前記貫通孔のうち前記平板部の表面側の開口部分が閉鎖され、前記貫通孔のうち前記平板部の裏面側には前記立壁部に囲われた所定空間が形成されることで、前記貫通孔から挿入された異物の前記流下領域への侵入が困難とされる

ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考として例示する。

手段１：遊技機において、

「表面に所定の装飾が施されていると共に、裏面に粘着力を有する糊面が設けられている装飾体と、

該装飾体が貼り付けられている平板状の平板部、及び該平板部に設けられており前記装飾体の隣接している二辺に接することで該装飾体を位置決め可能とする位置決部、を有している台座部材と

を具備している」ものであることを特徴とする。

10

20

30

40

50